



丹後峰山の
こんぴらさん

今年の紅葉祭



奉納御礼

「提灯」対(拜殿献灯用) 峰山町織元 安田清志殿



(明年迎える喜寿記念として)

平成二十年
祭行事のご案内

初詣

大晦日より終夜参拝
元日 御神酒 授与
正月縁起物多数

※元日午前零時より、
峰翔会(こんぴらさん応援団)の
「ご奉仕で「あたたかいもの」の
無料接待を計画しています。

一月十四日 午前七時～
焼納祭(どんど焼)

二月三日(日)十二時
節分 還暦初老祈願祭
節分祈願祭を第日曜となる
節分日に執行します。

ご参列希望の方は、
地域にかかわらず
多数お申し込み下さいませ。

「お伊勢さん 初まりり」
伊勢参宮旅行 参加者募集中
二月十三～十四日(水・木)
参加費 一人二一〇〇〇円

四月九・十日
春季大祭 吉例「宝籤」開催

新年祈願承り中

家内安全 心身健勝
商売繁盛 会社隆昌
男女厄年 開運厄除
合格祈願 学業成就
海上安全 大漁満足

平成20年の厄年(数え年)

昭和23年生	61歳	還暦
昭和42年生	42歳	大厄初老
昭和47年生	37歳	男女
昭和51年生	33歳	女子大厄
昭和59年生	25歳	男女
平成2年生	19歳	女子厄年

平成23年御鎮坐二百年大祭



京丹後市峰山町泉1165-2
電話 0772-62-0225
FAX 0772-62-5993
メール info@konpirasan.com

http://www.konpirasan.com

京極家当主ご臨席のもと 峰山京極会 発足

旧峰山藩主京極家についての知識を深め、さらに広く峰山の文化を伝えていく勉強会「峰山京極会」が当社宮司小職を代表に発足いたしました。

これまでは丹波相光寺西田承元住職のもと「峰山敬業会」として活動し、特に東京都千代田区的首相官邸の地が旧峰山藩の上屋敷跡であることに着目して勉強や啓蒙を進め、官邸前にこの故事を紹介する案内看板設置を成し遂げられた他、四国は讃岐丸龜・多度津の京極会などと交流を行うなどの活動をしてこられました。このほど代表の任を小職に託されたのを機に「峰山京極会」として発足するに至りました。

十一月八日には、旧峰山藩主京極家 第十六代当主京極高幸様寛子様ご夫妻にもご臨席賜るなか、峰山敬業会からの会員に加え、旧峰山藩士族の会で藩の城跡でもある陣屋跡や京極家墓所の管理などを奉仕し守り続けてこられた「共同社」の皆様にも共に参画いただくこととなり、ご当主の裁可を得て念願の「京極会」発足となりました。

残念ながら江戸時代二五〇年間を通じて峰

山を治めた丹後の雄藩についての認識は低く、今も続いておられる「峰山京極家」と地元のご縁も少し薄らいでしまっています。

今後は地元での認知を広め、魅力が埋もれてしまっている城下町として文化や財産を内外に発信できるようになればと念願し、勉強を通じて活動して参りますので、ご興味お持ちの方は是非ご参画下さいませ。

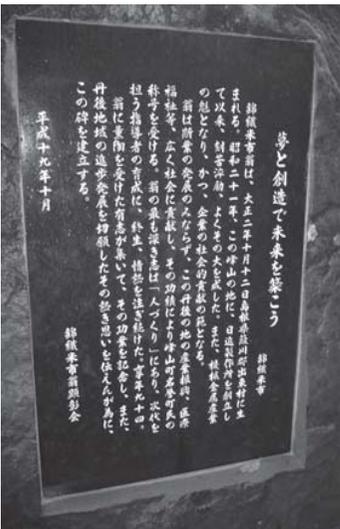


錦織米市翁 顕彰碑 竣工

夢と創造で未来を築こう

錦織米市

昨年七月に逝去された錦織米市翁（日進製作所特別顧問・創業者 京丹後市名誉市民）の顕彰碑が境内に建立され、十月二日（火）除幕式が営まれました。



これは、顕彰碑設立発起人会（藤山基一代表以下十八名）によって発案され広く賛同者を募って実現したもので、現境内地の一角で日進製作所を創業、機械金属産業の発展と地域の繁栄に大きく奇与される傍ら、長年にわたって当社総代・顧問を歴任されるなど、多大なご貢献を遺された所縁の深さに因み当社境内への建立されることとなり、当日の式典にはこの設立の趣意に協賛された百数十名もの方々が参列されるなか盛大に開催されました。

錦織翁には生前同様、永年に渡りこの碑を通じて神社をお見守りいただけることと存じます。

紅葉祭 大にぎわい

十一月二十五日（日）本年度三回目の開催を迎えた紅葉祭は、晴天に恵まれて大変な賑わいとなりました。

平成二十三年の御鎮座二百年祭へ町内を盛り上げて行くことを目的に始まった祭りですが、これに賛同した今回の奉仕者は総勢一〇〇名にも上り、手作りで盛り上げる意義ある祭典として定着してきました。

午前九時半からご本殿での祭儀を皮切りに、山上では峰山よさこい連がよさこい踊りを、峰雅会が雅楽を奉納、十一時からは恒例の「バラ寿司」「カニ汁」の無料接待が行われ、拜殿前広庭は四百名もの長蛇の列で埋め尽くされました。終日境内では模擬店や地場産品の直売・コッペ蟹の特売などで賑わい、予想を超える来場者に仕入れ数が間に合わなくなるほどの賑わいとなりました。

また、山内の紅葉もちょうど見頃を迎え、気候不順の影響か本年の色づきは赤みが薄く、黄や朱色の紅葉となりましたが、山内に設けた遊歩道にも大勢詰めかけて過ぎゆく秋の風情を堪能されていました。



防火防犯警報設備設置

本年夏に設置しました山上屋外消火栓設備に続き、火災警報装置及び防犯設備を設置しました。

本殿拜殿周囲の火気の検知と夜間などの不審侵入を社務所へ通報する警報装置を新設、万一の不測の事態に対応できる防火防犯体制をさらに充実整備いたしました。

